

# 7月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和4年7月4日(月)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 市ノ瀬淳一 委員 小山正文  
委員 宮下温子 委員 小松小百合  
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 佐々木英明  
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明  
次長 臼井太津男 子育て支援コーディネーター 高野智弘  
主事 龍頭詩織

## 一 開会(臼井教育次長)

定刻となりました。令和4年7月の麻績村教育委員会定例会を始めます。  
よろしく願いいたします。

## 二 教育長挨拶(加瀬教育長)

## 三 報告

臼井次長: それでは、報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

### 1. 教育長報告

教育長: お願いします(以下、資料に沿って説明)。

臼井次長: ありがとうございます。只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、続いて子育て支援コーディネーターお願いいたします。

### 2. 学校長・保育園長報告

#### 1) 子育て支援コーディネーター報告(高野CO)

高野CO: よろしく願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

臼井次長: 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小山委員: キッズサポート会議で、「外部、村外の方」はどんな方が関わっていただ

いていますか。

**高野 C O:**松本圏域のあるぷから臨床心理士 1 名、作業療法士 1 名。今年度から安曇養護学校の教育相談の担当の先生にアドバイスをいただいている状況です。

**小山委員:**ありがとうございます。

**白井次長:**他いかがでしょうか。

**小松委員:**今後の課題で「育児相談窓口の明確化」とあるが、具体的な予定はありますか。

**白井次長:**こちらについては議会の一般質問等でも何回も出ているが、今実際に子育ての部分については窓口が住民課と教育委員会になっているので、もう少し明確化し、相談窓口の一本化をすることが課題となっています。就学前の保健相談等については住民課だが、全体的な子育て支援については色々なものが入り込んでいます。現状は保健師が特にひだまり広場に入ってきて相談を一緒に聞いているような状態です。もう少し組織立ってしっかり子育て支援できるような形にすることが課題かと思われれます。相談を受けたらそこだけではなく連携し、各方面に情報は行っているが、もう少し一本化したほうが良いというのが課題であります。

**小松委員:**ありがとうございます。

**白井次長:**他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは続いて保育園長報告に移ります。保育園長お願いいたします。

## 2) 保育園長報告(塚原園長先生)

**塚原園長:**よろしくお願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:**只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは続いて小学校長報告に移ります。小学校長お願いいたします。

## 3) 小学校長報告(佐々木校長先生)

**佐々木校長:**よろしくお願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:**只今の小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**小松委員:**朝食を食べて来ない子は割といるか。

**佐々木校長:**1、2 人だが割合的にはそれで 10%になってしまう。そういう子が出てきてはいるし、特定のお子さんなので誰がということはわかっています。昨年あたりの傾向からそういう子たちがいて、概してそういうおさんは学校へ来るのがギリギリという傾向があります。

**小松委員:**給食までずっと栄養、エネルギーを摂れずに午前中授業を受けるということか。

佐々木校長: そうです。そんな話をしていたら職員の中にも朝食を取っていない職員がいるということがわかって、「おいおい」と話をしているところです。

小松委員: 把握されているということですね。わかりました。

白井次長: 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは続いて中学校長報告に移ります。中学校長お願いいたします。

#### 4) 中学校長報告(白井校長先生)

白井校長: よろしくお願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、協議事項に移ります。

### 四 報告・協議事項(加瀬教育長)

#### (1) 高校生等通学補助制度について

教育長: それではお願いします。通学定期等の補助ということで、議会でも村長からそういった形で実施をしていくということで、教育委員会に具体的な対応を任せましたので、その件について次長から具体的に説明させていただきます。

白井次長: お願いいたします。麻績村につきましては、高校生になれば大概の方が村外へ JR 等を使い通学しています。今までその通学部分に対しては補助制度は一切なかった訳ですが、昨年度から議会で度々そのような話が出ており、今回の 6 月定例議会では先程の教育長報告の通り「通学定期の補助制度について」という質問が出されました。その中で村長は「前向きに」と回答された訳なんですけど、実際細かい部分につきましては教育委員会で伺いを立てる中でまだ正式には決まっていないんですが、一応「JR を利用した方」について補助を出していくような方針で固まりつつあるという状況です。

教育長: 実際には金額的なこと等あるので、後半のところで具体的なご相談をさせていただきたいと思います。今 JR はありましたが、「それ以外を使ったらどうするのか」や、例えば「寮に入っている場合はどうするのか」。いくつか案を持っていますので、後半のところで進めたいと思います。このところでは補助制度に関して実施をしていくという形をまずご報告させていただいて、委員の皆様方のご了承をいただければ、後半のところで具体的な形にさせていただきたいと思いますが、制度自体に関しては「実施をしていく」という方向でよろしいでしょうか。

全 員: (了承)

教育長: それではよろしくお願いします。具体的なことはまた後半のところでお願

いします。それでは、次に移ります。

## (2) 中学部活動の地域移行について

**教育長:**事務局からお願いします。

**白井次長:**お願いします（以下資料に沿って説明）。

**教育長:**そういった形で現在指定を受けて予算も配当されているということで、中学校の部活動に関して地域移行を進めていくという形で、今年度準備段階ということになりますけれども、やっていくという方向になるかと思えます。簡単に言うと、日本中学校体育連盟（中体連）でそれぞれの地域、県から、北信越あるいは全国という、学校のチャンピオンを決める大会が繋がっていくんですけど、そこは今まで全て「学校の部活動」という形でないとお出場でできなかったものが、学校を超えて地域だとかもう少し広範囲で、だとかというような形でも、学校名ではなくて出場ができるという風に大きく舵が切られましたので、たぶん全国的にはそういう方向へどんどん進んでいくと思えます。簡単に言うと、学校から部活動を切り離していくということです。しかし地域によってはなかなか簡単にはできないところもありますので、麻績村としてはできる競技のところから外して地域のほうを中心になってやっていく、そこに予算を付けていくという方向で行くということです。あと中学としては、バレーと吹奏楽と野球になるかと思うんですけど、具体的に状況等何か今ありますでしょうか。

**白井校長:**自分の感覚から言うと、学校でがちがち今やっている雰囲気ではなくて、多くの方にサポートしていただきながら進めています。バレーであっても来ていただいてやっています。剣道が一番うまくやっていると思うんですけど、剣道あたりで流れを作って、バスケは社会体育だから、そういうできるところをしっかりとすれば、自分は全部一気に地域移行できるかなと思えます。言い方が「部活動を地域に持っていく」みたいな言い方でやると、「あの部活動が地域で」となってしまうので、今組織作りということを考えていけば、「地域スポーツの充実」と見方を変えて、その中にこの子どもたちのスポーツが入ってくるというのが良いかと思えます。お金の出どころは「地域部活動推進事業補助金」と「部活動」という言葉が入っているんですけど、「部活動」という言葉をできるだけなくしながらいくのが良いと思っています。

**教育長:**一応そんな形で進めつつ、一番問題なのはどうしても指導者の皆さんが、簡単に言うとボランティアでやっていただいているという状況になってしまうので、もし何か事故があった場合等の責任的な問題、あるいは保険加入等の問題、色々なところに関してお金の掛かる部分が出てまいります。そこら辺のところを予算を使いながらしっかり整備をし、次年度以降村の

予算でということのできる限りのことをやらないといけないと思うんですけど、予算的なこともきちっと整えて移行をしていくという方向になるかと思います。今年度「そういったモデルを作ってくれ」という依頼がありますので、80万予算を使わせていただいて、仕組み作りに取り掛かるということでご承知おきいただければと思います。よろしくお願ひします。何かその件に関してございますでしょうか。ありがとうございます。それでは次に移ります。

### (3) 文化財の現状と今年度実施事業等について

**教 育 長:**事務局からお願いします。

**白井次長:**お願いします（以下資料に沿って説明）。

**教 育 長:**今次長から説明がありましたが、このところ寄せられている意見で、「色々な文化財の標柱が破損したり倒れたりし始めている」ということが各地区の懇談会等でも出されています。確認をしなければいけない状況ではあるんですけど、これだけの数でありますので非常に苦しいところで、それぞれの地域のほうからご連絡いただいて対応できるところは対応するという方向をしているところではありますけども、今そのようなことが出始めているということをご承知おきください。今の説明等に関して何かございますでしょうか。

**小山委員:**縄文からの遺跡もあるんですね。

**白井次長:**そうですね。特に埋蔵文化財につきましては縄文以前、縄文からが多いところがあります。実際に30番の野口遺跡につきましては、高速道路が通る時に大々的に発掘されております。

**教 育 長:**よろしいでしょうか。先程のような話が地域のほうから出たり、委員の皆さんのお耳に入ったりすることがあるかと思ひますので、その都度教えていただきながら、またお気づきの点がありましたらご意見いただくようお願いできればと思ひます。よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。ここまでのところに関わってもし何か皆様のほうからありましたらお出しいただいて、それ以外のところは後半のところでもいただきたいと思ひますが、何かございますでしょうか。

## 五 その他

### 1) 各委員から

**小山委員:**先程の中学校の部活動地域移行について、南牧は南牧の6町村ですか、この地区だったらぱっと思ひつくのは筑北と麻績ですが、ただ人数的に向こ

うはそこだけでもできるかもしれないが、こちらはもう少し広範囲に、例えば明科とかそういうところに、郡や市を超えて連携することは可能なんでしょうか。

**教育長:**それ自体は全然問題のないことではあるんですが、実際には今筑北、生坂と、吹奏楽を合同でやっている。北部の3村は連携しているんですけど、それだけではだめですし、野球は聖南中と松本市の<sup>あいだ</sup>会田中と合同部活動なので、どんどん広げていかないと当然相手のほうも人数が少なくて困っている状況ですので、そこら辺のところは校長会のほうでも、中体連が中心になって広域の部分のところを検討し始めているところだとは思いますがけれども、確かにその通りでありますので、そういった方向でさらに進めていく必要があると思います。しかしながらそうは言っても通常の日に活動できるという訳ではなくて、どうしても土・日曜日、休日等あるいは長期の休み等ということになるかと思えます。そこら辺のところも含めて、いただいたご意見ももっともでありますので、そんなことをまた「村の教育委員会でも出た」ということを校長会のほうでもお話しいただいて、さらに推進できるようにしていただければと思います。よろしくお願ひします。市町村の教育長の懇談がありますので、そのこのほうで「中学校の部活に関して非常に苦しい状況である」ということに関してお願ひはしたいと思っています。他いかがでしょうか。

**宮下委員:**今度保育園に聖南中から生徒さんが職場体験にいらっしゃるということで、図書館でも7月に2名予定しているんですけども、色々な連携があってやっていることなのではないでしょうか。以前もあったことなのではないでしょうか。

**塚原園長:**今までは聖南中の生徒は来たことはなかったですが、理由を聞いたら「保育園、保育士体験をしたい方がたくさんいて、筑北村の保育園だけでは足りなかったの、近隣の麻績村で受けていただけますか」ということでした。麻績保育園としては「教育委員会にも確認して可能であれば受けます」ということで、日程も調整ついたので今回は受けた状況です。

**教育長:**中学校間で何か連携はありますか。

**白井校長:**それは各中学校でやっていて、独自に職員が「麻績保育園どうですかね」ということで教育委員会と相談しているんだと思います。

**教育長:**逆に筑北村へそういうことで行くお願ひはしていますか。

**白井校長:**うちは筑北村の公共のところに行くということはないと思います。商工会を中心にやっていただいている、麻績小とか麻績保育園とかという麻績の中だけでやっていると思います。長野工業あたりは千曲市に行ったりしますが、麻績村の繋がりの中でやっていると思います。外部に出るとなればやり取りはした方が良いでしょうね。

**教育長:**情報交換はしておいていただいて、そういった正式な依頼があればお受けします。特に聖南中の坂井の子はここら辺でやった方がきっとやりやすい

とは思いますが。

**宮下委員:**来る子は坂北の子という報告だったので、何か連携が始まりつつあるのかと思いました。

**教育長:**連携してという訳ではなく、単発ということだと思います。

**宮下委員:**わかりました。ありがとうございます。

**教育長:**情報交換はしておいていただくようお願いいたします。

**白井校長:**わかりました。明後日北部校長会がありますので、そこで話をしようと思います。

**教育長:**はい。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。

## 2) 事務局から

**白井次長:**お願いします。

- ・給食食材高騰への対応について  
→「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当予定  
予算補正対応予定
- ・保小中 給食施設の設備点検について  
→7月6日15時～中学校、16時～保育園、7日16時～小学校
- ・令和4年度 地域未来塾事業の実施について  
→今年度も学習支援員として信州大学の学生が参加予定
- ・今後の「おみっこ元気クラブ」の予定について  
7月下旬に予定している「キャンプ」については詳細検討中  
8月上旬予定の「ウォーターアドベンチャー」は中止  
→「キャンプ」は実施する場合、「デイキャンプ」を予定  
今年度も信州大学の学生が参加予定  
6月25日の麦刈りは中止になったため7月1日に職員のみで実施  
今後、刈った麦を用いておやき作成予定
- ・新任ALTについて  
→レックス先生は7月31日まで任期、帰国予定  
スティナ先生は7月25日から任期、27日に村へ来る予定

**白井次長:**事務局からは以上です。

**教育長:**ありがとうございました。何かこの件に関してございますでしょうか。

**市ノ瀬職務代理:**この件ではないんですが、今給食食材の高騰についてありましたが、電気も今盛んに「節電」とか言われていますが、保育園・小中学校のクーラーとかは十分使えているだけの予算はあるんでしょうか。「節電」と言って無理されて、子どもたちの健康を害するようでは良くない。コロナ感染予防で、屋内でマスクもまだされていると思うので、十分クーラーを効かせ

ていただければと思います。

**白井次長:**「光熱水費」ということで、予算上は電気料・水道代・灯油代・ガス代が一緒になっています。全てにおいて値上げということで、電気料・ガス代についてマイナスになってくると思われれます。灯油代についても、これからはあるが、今現在のガソリン価格の高騰を見れば楽観視できる状態ではないと思っております。学校のほうではどのようにしていますか。

**白井校長:**8時から入れさせていただいております。

**教育長:**子どもたちの体調が悪くなつてはいけないので、よく見ていただきながらお願いします。換気と合わせてやっていかないといけないということもあり、非常に苦しいところではあるんですが。

**佐々木校長:**1つ課題があるんですが、エアコンを早い段階で入れていただいたんですが、機種が教室によって違う。2つはほぼ家庭用みたいなもので、設定温度を一番最低温度に設定をしても室温が28℃以下にならないという暑さで、いられないのが2教室ある。去年からわかっていたんですが今年特にひどいので。

**教育長:**扇風機も併用しているか。

**佐々木校長:**扇風機も併用していますが、全く歯が立たない。

**白井次長:**場所はどこでしたか。

**佐々木校長:**4年教室と2年教室、今は4年生と1年生の教室。中庭に面している。担任から「何とかありませんか」と3年間同じことをずっと言われている。

**教育長:**わかりました。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは次回の日程に移ります。

次回の定例教育委員会の日程 9月5日(月) 午前9:30～

**教育長:**8月の定例教育委員会はございません。ただ、その間に施設を見学に行く予定を入れさせていただきますので、暑い中申し訳ありませんがお願いいたします。全体を通して何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

## 六 閉会（加瀬教育長）

長時間にわたり、ありがとうございました。以上で7月の麻績村教育委員会定例会を閉会します。